

店の宝は厚い客層—— 目指すのは地域ナンバーワン店

新大阪のオフィス街にある「新大阪 YEBISU CAFÉ」。「厚い客層が当店の宝」と語る伊藤社長は、信頼を置くスタッフたちと共に、店の雰囲気づくりや充実の接客対応に努めてきた。最新の流行とこだわりを融合させ、街ゆく人々の目を引くような店を目指している。



新大阪 YEBISU CAFÉ

大阪市淀川区宮原 4-3-12 明幸ビル 1F

TEL 06-6393-3433

【事務所】大阪市淀川区西宮原 2-5-18 グロリアス北大阪 401号

TEL 06-6394-6282

E-mail: yebisu-cafe@krb.biglobe.ne.jp

対談：代表取締役 **伊藤 貴公** × ゲスト **三ツ木 清隆**

三ツ木 素敵なお店ですね。伊藤社長が飲食業界に入られたきっかけは？

伊藤 飲食業界でアルバイトをしていたのが本業になったという感じです。実は映画監督を目指して専門学校に通っていたのですが、アルバイトとして働いていた店の上司から、店長にならないかと話をいただき、1年間やってみよう。「店づくりも映画づくりと同じ。店はお客様を楽しませる演出の場で、人を動かす店長という仕事は映画監督に通じる」と発想の転換をしたのです。映画監督への思いは今でも心の中で温めています。

三ツ木 そうした飲食店での経験が現在に活かされているのですね。

伊藤 ええ。1年の約束で店長を務めていた間は、店を去る時に惜しまれるくらいになりたいと、それはもう必死に働きました。その中で飲食業の面白さに魅了

され、この業界で生きていくことを決めました。また、担当していた2店舗が姉妹店の中で1位、2位の成績を収める売上げを上げ、自信になりました。

三ツ木 お店を成長させるには人材も鍵を握るかと思いますが、いかがですか。

伊藤 おっしゃる通り、実際に接客対応するのはスタッフ。スタッフのモチベーションの高さはお客様への接し方であらわれ、店の質も上げます。そこでスタッフが働きやすい環境、スタッフのモチベーションが上がる環境づくりに取り組んできました。現在も、士気を高められるよう彼らの意見に耳を傾け、責任ある仕事を任せています。「自分の働いている店を好きになってほしい」——そう話しているのですよ。スタッフは家族も同然。仕事上の悩みや、日頃考えていることを、気軽に話してほしいですね。

三ツ木 こちらのお店は、幅広い年齢層の方々に人気だそうです。

伊藤 年代を問わず、幅広く受け入れられるようなメニューや雰囲気づくりを心がけてきて、若い方から50代、60代の方まで幅広い年齢層の方々がご来店くださっています。また、独立前から長年ご最前にしていただいている常連さんを大切にしたいとの思いもあるんです。最新の流行を取り入れつつ、昔からのこだわりも守る。新旧の融合ですね。

三ツ木 最後に今後の抱負を。

伊藤 街を歩いていて、目を引く店ってありますよね。そんな店にしていきたいです。究極の夢は、映画と店のコラボレーション。いつか、自分がつくった映画を店内で映し出せたらと、考えるだけで胸が高鳴ります。

(取材／平成18年1月)

「店内に置かれた水槽にはくらげが泳いでいて、癒し効果は抜群。独立前から社長を慕っておられた常連さんをはじめ、年代を問わないお店づくりに励んでこられました。映画監督を目指して勉強されていたそうで、いつか社長ご自身がつくられた映画を店で流したいという、夢を聞かせてくださいました。伊藤社長はまだ29歳。きっといつか実現できるでしょう！」



三ツ木 清隆

